

## ～今月の読み物～

## 「木は地球を救う」— 3

細田木材工業(株)  
相談役 細田 安治

「木は地球を救う」シリーズは-2で終わりにしたつもりが編集委員会より、細田は「木材教」という有難い尊称を賜りました。なのでネタ切れまで書き続けます。

東京商工会議所江東支部木材分科会、建設不動産分科会、情報産業分科会の3分科会合同の視察会に参加した。当組合からも役員をはじめ、10名が参加した。

午前は千葉にある「IOTセンター」は、近未来のコンストラクション現場で人手不足解消と工期短縮によるコストダウンを目指して、ドローンによる地形測定、コンピューターによる地形図作成、作業管理スケジュール表が出来上がり、直ちに施主との打ち合わせに入ることができる。ブルドーザーは女性でも運転できる半自動ブルドーザー。見学者一人ひとり実際に運転を体験した。説明によると作業現場のスピードは1.5倍から3倍になり大幅なコストダウン可能とのことであった。「IOTセンター」の販売のシェアは国内20%、開発は国内で最先端。標準小売価格4千万円、リース料金月額40万円とのことであった。時代はここまで進んでいる。改めてショックを受けた。

「見学者に運転させ経験させ印象付けるセールス活動」「木材や」はもっともっと努力すれば未来は明るいと感じた。

## 建築現場における木材利用

森林の二酸化炭素吸収能力を維持するため、吸収する力の強い若齢木を森に残し、それ以上成長しない老齢木を伐採し、苗木を植えて次の世代に備える森林サイクルが必要だ。伐採された木は、二酸化炭素を固定したまま形を変え商品として流通し、その対価が森に還元されなければ、森林リサイクルはできない。今更いうまでもないことだが、外材輸入により林業が低迷しているが、近年国産材の比率が徐々に高まりつつある。ここで木造住宅はもちろんのこと非住宅即ち都会に木の森をつくるために、国産材の比率を高め、森林サイクルの更なる強化を急ぐことが、日本の森を守り国土を保全することが、「木は地球を救う」木は地球を救うことは、森林国の日本の責務と考えますが読者の皆様いかがでしょうか？

## 日本は世界第2の森林国

余談だが地球は表面のおよそ7割が海、3割が陸地。そして、陸地の3分の1、すなわち地球全



伐採、植林現場

体の約1割が森林だ。2010年3月にFAO(国際連合食料農業機関)が公表したデータによると、世界の森林面積は約40億ha、全陸地面積の約31%を占めている。森林分布を地域別に見ると、面積はヨーロッパが最も広く1,001百万ha、南米が832百万ha、北中米が706百万haの順となっている。

世界の森林率即ち国土面積における森林の割合は日本が世界第2位。「国別ランキング」にすると、トップがフィンランド：73.9%、2位は日本で68.2%、スウェーデン：66.9%、韓国：63.5%、ロシア：47.2%と続きます。日本が世界有数の森林国であることがここでも確認できる。

都会に木の森をつくる。建築分野での木材利用だ。次に都会における木の森を紹介する。

### 有明西学園と建設現場

有明西学園については、後期課程の通学区域を前期課程より広く設定。どの児童、生徒も9年間の一貫した教育課程へ円滑に適応できるよう、転入生への対策を講じていくとしている。江東区では、区内で初めて小中一貫教育を実施する「義務教育学校」としての学校を平成30年4月の開校に向け、現在建設中だ。躯体は完成し、今内部の工事にかかっている。「義務教育学校」とは学校教育法の改正に伴い、新たに設置された学校種。小学校でも中学校でもない新しい区分に位置づけられる。1年生から9年生までの9年間の教育課程等を系統立て小中一貫教育を実施する学校だ。1～6年生は前期課程、7～9年生は後期課程となる。筆者の年代では考えられなかった制度だ。日本の未来を担う子供たちに期待する。



伐採、植林現場



有明西学園全面写真 江東区ホームページ参照

### 校舎の内装木質化・木構造化

日本の未来を担う新しい教育制度が江東区にできた。こんな素晴らしいことはない。そのうえ、「木材や」にとってさらに嬉しいことは「学び舎」の木構造化(一部)・と内装の木質化だ。

木のぬくもりを活かした「学び舎」づくり、こどもたちの豊かな学習環境を創出する空間づくり、災害に強く、人・環境に優しい学校づくりが目的だ。特に、こどもたちの生活空間である普通教室や、木の回廊を中心とする校舎には、江東区の地場産業である「木材や」の木材をふんだんに使用し、木質化・一部木構造化による「木材や」の「江東区らしい学校施設」となる。ここが嬉しい。

### 施設一体型の校舎

施設一体型の特徴を生かし、運動会などの学校行事のほか、日々の活動の際にも異年齢交流を行って

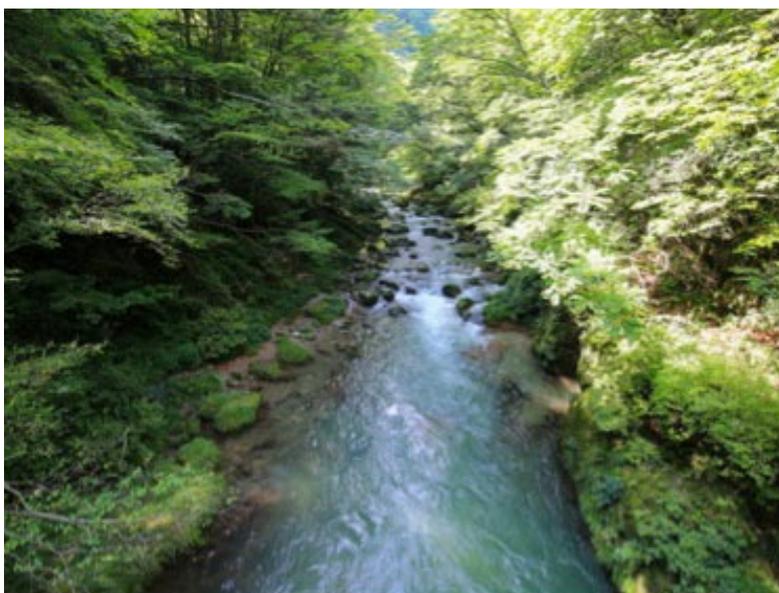
いく。小・中学校の教員が一つの職員室を使用する特色を生かし、教員間の連携を積極的に図っていく。有明西学園については、後期課程の通学区域を前期課程より広く設定。どの児童、生徒も9年間の一貫した教育課程へ円滑に適應できるよう、転入生への対策を講じていくとしている。

#### 学校規模

敷地面積	20,184.66平方メートル
延床面積	校舎 約25,000平方メートル
教室数	普通教室48教室、その他 特別支援教室等を配置予定
階数	1階RCコンクリート、2階以上が木造

江東区ホームページ参照

義務教育学校は江東区で初めてであり、東京都でも品川区に5校あるのみで画期的な学校である。5階建てだが一階はRCコンクリート造、2階以上屋上まで木造となっている。材料の唐松は、火に強く強度もあり、経年変化できれいに日焼けする。1時間燃え落ちない耐火構造であり、燃え落ちず周囲に損害を与えず消防車が到着するまでに避難できる。もし、杉の集成材に1時間耐火が担保できれば、もっと普及するだろう。某メーカーの唐松ハイブリット集成材は2時間耐火の認定を取得した。このような安心、安全な木の持つ安らぎ、ぬくもりの中で、勉強できる子供たちは幸せである。 続く？



豊かな森は豊かな海を育む

出典：[https://www.shinrin-ringyou.com/topics/mori\\_umi.php](https://www.shinrin-ringyou.com/topics/mori_umi.php)